

IV. 資料編

- 資料編-1 当行の沿革
- 資料編-2 決算概況の推移
- 資料編-3 主要な経営指標等の推移
- 資料編-4 預金期末残高の内訳の推移
- 資料編-5 貸出金期末残高の内訳の推移
- 資料編-6 与信費用の推移
- 資料編-7 業種別貸出金
- 資料編-8 金融円滑化法に係る実施状況

資料編-1 当行の沿革

大正	13(1924)年 4月	茨城県水戸市に常磐無尽(株)として設立
昭和	26(1951)年 10月	常磐相互銀行に商号変更
	27(1952)年 6月	東京都千代田区飯田町に本店移転
	28(1953)年 4月	東京都千代田区神田富山町に本店移転
	47(1972)年 10月	東京証券取引所第二部に上場
	48(1973)年 8月	東京証券取引所第一部に指定替え
	10月	ときわ相互銀行に商号変更
	50(1975)年 11月	所在地東京都中央区日本橋に本店移転
	63(1988)年 9月	資金量1兆円突破
	平成	元(1989)年 2月
16(2004)年 4月		創立80周年
21(2009)年 4月		第14次中計「NEW STEP "東日本"」スタート
23(2011)年 4月		第15次中計「Value Up 東日本」スタート

資料編-2 決算概況の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 年 度		06	07	08	09	10
業 務	粗 利 益	35,927	36,020	33,730	34,123	33,746
	資 金 利 益	34,660	34,712	32,501	30,541	30,527
	役 務 利 益	1,149	1,187	858	1,044	1,215
	そ の 他 業 務 利 益	117	120	370	2,537	2,002
	債 券 関 係 損 益	—	19	278	2,463	1,899
経	費	20,817	21,284	22,121	20,981	21,966
	人 件 費	10,877	11,125	11,919	11,164	11,815
	物 件 費	8,879	9,139	9,203	8,800	9,186
実 質 業 務 純 益		15,109	14,736	11,608	13,142	11,779
コ ア 業 務 純 益		15,109	14,716	11,330	10,678	9,880
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額		△1,488	671	4,102	102	△1,529
業 務 純 益 (公 表 ベ - ス)		16,597	14,064	7,506	13,040	13,308 (11,779)
臨	時 損 益	△3,701	△2,634	△22,592	△4,608	△5,509
	不 良 債 権 処 理 額	5,063	3,710	19,855	4,132	3,041
	株 式 関 係 損 益	1,892	1,131	△2,366	109	△2,130
経 常 利 益 (公 表 ベ - ス)		12,896	11,429	△15,085	8,431	7,798 (7,249)
特 別 損 益		△36	△366	△92	△200	△126
当 期 純 利 益		7,613	6,604	△9,121	4,632	4,246

※10年度については、前年度以前との連続性を保つため、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額を相殺表示していません。相殺表示した公表ベースは()で表示しています。

資料編-3 主要な経営指標等の推移

指 標 \ 年 度	06	07	08	09	10
当期純利益(百万円)	7,613	6,604	△9,121	4,632	4,246
実質業務純益(百万円)	15,109	14,736	11,608	13,142	11,779
実質業務純益ROA	0.88%	0.84%	0.66%	0.76%	0.67%
当期純利益ROA	0.44%	0.37%	△0.52%	0.26%	0.24%
実質業務純益ROE	16.72%	16.30%	13.69%	15.75%	13.44%
当期純利益ROE	8.30%	7.17%	△11.23%	5.37%	4.76%
O H R	57.94%	59.08%	65.58%	61.48%	65.09%
自己資本比率	10.71%	10.90%	10.73%	11.41%	9.67%

実質業務純益=一般貸倒引当金繰入前業務純益

実質業務純益ROA=実質業務純益÷(総資産平均残高-支払承諾見返平均残高)×100

当期純利益ROA=当期純利益÷(総資産平均残高-支払承諾見返平均残高)×100

実質業務純益ROE=(実質業務純益-優先株式配当金総額)÷[(期首純資産残高-期首発行済優先株式数×発行価額)+(期末純資産残高-期末発行済優先株式数×発行価額)]÷2×100

当期純利益ROE=(当期純利益-優先株式配当金総額)÷[(期首純資産残高-期首発行済優先株式数×発行価額)+(期末純資産残高-期末発行済優先株式数×発行価額)]÷2×100

OHR=経費÷業務粗利益×100

資料編-4 預金期末残高の内訳の推移

①科目別

(単位：百万円)

年 度		06	07	08	09	10
科 目						
預 金		1,669,448	1,669,149	1,650,099	1,632,136	1,677,117
	流動性預金	643,916	612,590	608,047	609,743	627,905
	定期性預金	1,003,548	1,024,238	1,013,151	992,487	1,018,942
	その他	21,982	32,320	28,900	29,905	30,269
譲渡性預金		—	—	—	—	—
合 計		1,669,448	1,669,149	1,650,099	1,632,136	1,677,117

流動性預金=当座預金+普通預金+貯蓄預金+通知預金

定期性預金=定期預金+定期積金

②顧客別

(単位：百万円)

年 度		06	07	08	09	10
区 分						
法 人		457,029	433,670	416,526	431,438	447,283
個 人		1,139,162	1,156,576	1,170,929	1,151,325	1,153,418
公 金		48,094	53,903	40,078	30,854	59,872
金 融 機 関		25,162	24,998	22,565	18,518	16,542
合 計		1,669,448	1,669,149	1,650,099	1,632,136	1,677,117

譲渡性預金および特別海外国際金融取引勘定を除く。

資料編-5 貸出金期末残高の内訳の推移

①科目別

(単位：百万円)

科目 \ 年度	06	07	08	09	10
手形貸付	151,795	141,179	106,505	89,991	86,822
証書貸付	1,163,668	1,173,207	1,202,654	1,175,616	1,184,061
当座貸付	57,114	55,274	57,253	53,449	49,303
割引手形	36,224	30,286	22,197	19,156	19,281
合計	1,408,803	1,399,948	1,388,610	1,338,213	1,339,469

②顧客別

(単位：百万円)

区分 \ 年度	06	07	08	09	10
大企業	108,119	100,927	99,822	90,409	94,255
中堅企業	25,162	24,371	23,042	22,779	27,905
中小企業	903,274	898,173	898,811	881,639	888,583
地方公共団体	15,877	16,622	17,759	16,973	22,187
個人	356,369	359,853	349,175	326,411	306,537
その他	—	—	—	—	—
合計	1,408,803	1,399,948	1,388,610	1,338,213	1,339,469

資料編-6 与信費用の推移

(単位：百万円)

区 分 \ 年 度	06	07	08	09	10
不良債権処理額	5,063	3,710	19,855	4,132	3,041
貸出金償却	84	10	5	3	31
個別貸倒引当金繰入額	4,207	2,977	18,680	2,863	980
偶発損失引当金繰入額等	—	—	206	317	319
バルクセール売却損	770	722	881	863	1,624
債権放棄	—	—	—	83	85
その他	—	—	81	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—	—	—	—
一般貸倒引当金繰入額	△1,488	671	4,102	102	△1,529
与信費用合計	3,574	4,382	23,957	4,234	1,511
償却債権取立益	36	83	7	2	0
実質与信費用	3,538	4,298	23,949	4,232	1,511

※10年度については、前年度以前との連続性を保つため、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額を相殺表示していません。

※実質与信費用＝不良債権処理額＋一般貸倒引当金繰入額－償却債権取立益

資料編-7 業種別貸出金

業 種	11/3末残高(百万円)		構成比(%)	
		前年度末比		前年度末比
製 造 業	102,616	△3,874	7.6	△0.3
農 業、林 業	771	△673	0.0	△0.1
漁 業	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	182	△5	0.0	△0.0
建 設 業	77,804	△1,454	5.8	△0.1
電気・ガス・熱供給・水道業	42	39	0.0	0.0
情 報 通 信 業	25,849	2,535	1.9	0.2
運 輸 業、郵 便 業	28,568	△1,074	2.1	△0.1
卸 売 業、小 売 業	142,601	△5,051	10.6	△0.4
金 融 業、保 険 業	62,740	5,650	4.6	0.4
不 動 産 業	84,348	△32,752	6.2	△2.5
不 動 産 賃 貸 管 理 業	306,196	53,022	22.8	3.9
物 品 賃 貸 業	26,733	△7,484	1.9	△0.6
学術研究、専門・技術サービス業	19,720	△162	1.4	△0.0
宿 泊 業	11,941	2,146	0.8	0.1
飲 食 業	21,268	△1,233	1.5	△0.1
生活関連サービス業、娯楽業	38,978	2,698	2.9	0.2
教 育、学 習 支 援 業	5,186	722	0.3	0.0
医 療・福 祉	26,718	1,961	1.9	0.1
そ の 他 サ ー ビ ス 業	25,886	979	1.9	0.1
地 方 公 共 団 体	22,187	5,214	1.6	0.4
そ の 他	309,123	△19,951	23.0	△1.5
国内合計	1,339,469	1,256		

うちリスク管理債権残高(百万円)	
	前年度末比
3,540	145
9	0
—	—
28	28
2,368	△1,642
—	—
323	△464
1,265	△586
3,435	△1,397
352	148
14,400	△19,003
10,305	△1,483
128	111
553	105
249	△13
1,573	397
6,697	△235
39	△16
624	333
866	△288
—	—
2,856	△188
49,620	△24,045

※不動産業は、不動産売買業と土地開発公社等の合計。

資料編-8 金融円滑化法に係る実施状況

(単位：件、百万円)

【中小企業者】	09/12		10/03		11/03	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
条件変更等の申込	460	16,590	1,809	56,076	7,242	209,075
信用保証協会等による保証なし	212	13,834	743	44,017	3,046	159,896
実行	41	2,774	562	31,856	2,724	144,155
謝絶	—	—	—	—	51	2,057
審査中	169	10,407	140	8,809	146	5,228
取り下げ	2	652	41	3,352	125	8,455
信用保証協会等による保証あり	248	2,755	1,066	12,059	4,196	49,178
実行	39	390	758	8,900	3,588	41,779
謝絶	—	—	8	100	120	1,575
審査中	208	2,360	221	2,351	307	3,805
取り下げ	1	4	79	706	181	2,019
【住宅資金借入者】						
条件変更等の申込	52	963	158	2,809	503	8,973
実行	5	141	84	1,506	390	7,014
謝絶	—	—	1	29	28	628
審査中	43	762	50	907	33	491
取り下げ	4	58	23	366	52	837

※ 件数、金額は法施行日からの累積(09年12月4日から11年3月31日まで)、件数は債権単位、金額は申込時点。

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

本説明会資料やIRに関するご意見、ご感想、
お問い合わせは下記までお願いいたします。

株式会社東日本銀行 経営企画部 IR室

T e l : 03-3273-4073

F a x : 03-3273-5396

E - M a i l : keieikikakubu@higashi-nipponbank.jp